

第7回 森の奥に秘密の遊び場を作ろう！ 後編

◎今回の主なプログラム

- ・秘密の遊び場を作ろう・・・みんなで協力して秘密の遊び場に「トランポリン」を作りました
- ・秘密の遊び場で遊ぼう・・・トランポリンをはじめ、ブランコやすべり台など手作り遊具で遊びました
- ・竹を使ったバウムクーヘン作り・・・班で協力して、おやつ作りに挑戦しました



第7回、森のがっこう Nature クラスの活動報告です！

◎秘密の遊び場を作ろう

前回に引き続き、秘密の遊び場で新しい遊具「トランポリン」作りを行いました。土台となるトランポリン枠の竹を運び入れるチームと、竹から笹を切り取り、トランポリンの弾力となる材料を作っていくチームに分かれて作業を進めていきました。日差しが少なくかなり冷え込んでいたにも関わらず、子どもたちは大きな声を掛け合いながらテキパキと作業を行ってくれました。

ひと作業を終え少し休憩した後は、最後の作業です。前半に作ったたくさんの笹をトランポリンまで運んでいきました。限られたスペースなので全員が運び出すとなかなか作業が進まないため、全員が1列に並び、バケツリレー方式で笹を運び入れました。隣のお友達から受け取った笹を隣のお友達へ・・・作業としては単純なことです、みんなで力をあわせると効率的に作業が進んでいくことを子どもたちは体験を通して学んでくれたように感じます。

◎秘密の遊び場で遊ぼう

前回活動時から作り始めたトランポリンが、ようやく完成しました。完成時は大きな歓声が上がりました。さっそく秘密の遊び場で遊ぶ時間をとると、子どもたちは元気いっぱい走り回って、トランポリンの他にもブランコやすべり台などの手作り遊具でも遊んでいました。最後はみんなで作ったトランポリンの中に全員が入り、記念の集合写真を撮りました。

◎竹を使ったバウムクーヘン作り

スタッフが作ってくれた温かいほうとう鍋で体を温め、それぞれが作ったおにぎりを昼食としていただきました。そして昼食後、竹を使ったバウムクーヘン作りに挑戦しました。生地を竹に回しかけ焼いていくというシンプルな調理方法ですが、きれいなバウムクーヘンを作るには単純な作業を続けていく根気とチームワークが求められます。特に今回の活動では「班で協力すること」をテーマに作業をしてもらいました。①班の協力度②巻き数③仕上がりのきれいさの3点で採点し、優勝チームを決めました。優勝は最も協力して作業を行った5班となりました。最後に作ったバウムクーヘンをみんなで食べ、解散となりました。

～担当者からのひとこと～

12月の活動は大寒波の中での活動となりました。しかし子どもたちは、元気いっぱい活動を楽しんでくれました。寒さを忘れて走り回ったり、あたたかいものを食べたり、火にあたまりながらおやつ作りに挑戦したり・・・寒い中でも外遊びを楽しめるのは、子どもならではの特権のような気がします。さて、次回はお餅つきです！ 記：鎌田（なつ）